

平成26年度学校経営行動計画

赤穂市立赤穂中学校 NO 1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
教科指導 (道徳)	○学年の特質に応じて ・授業に向かう姿勢と意欲づけ ・家庭学習の指導 ○校内研修計画の立案 ・研修ポイント	○指導と評価の一体化 (各教科部会中心に) ○定期考査計画と学習指導	○市内授業研修(社会) ・研修ポイントの振り返り ○研究推進委員会 ・学習指導上の課題等の検証	○補充学習 ・躓きの回復と意欲付け	○補充学習 ・躓きの回復と意欲付け	○夏季休業課題の放課後指導 ○校内授業研修(教科) ・研修ポイントの振り返り ○研究推進 ・推進計画と目標の再確認
特別活動 (学級指導)	○生徒と担任のよい出逢い ・学級開きの工夫 ○学級目標づくり ・担任と生徒の願いをその都度振り返り、学級経営基盤のひとつとしての目標づくり	○校内研修(Q-U調査) ○Q-U調査 ・学級の人間関係の把握 ○Q-U調査を活かした全教職員の生徒理解、声かけ	○「いじめ」アンケートと連動した教育相談(6/2～6/6)	○Q-Uを活かした学級の間関係づくり…学年の問題として対応(通年)	○奉仕活動への意識向上 ○講師招聘校内研修(Q-U調査)	○体育祭の成功にむけて ・学級での取組 ・気になる子、特別支援学級生徒の充実のための工夫
特別活動 (行事) (生徒会)	○先輩とのよき出逢い(対面式、歓迎遠足の工夫) ○生徒憲章への意識の向上(中央廊下、各教室への掲示) ○部活動削減への取組	○生徒総会・専門委員会の活性化(本部役員会、各専門委員会) ○部活動への取組の見直し(部活動検討委員会)	○「いじめ・暴力防止」市内大会への生徒会取組 ○生徒会憲章の意識づけと検証(通年) (生徒会本部、担任、校長講話)	○市総体へのエール(壮行会) ○福祉施設訪問 ・利用者さんとの心の交流	○生徒会本部役員による体育祭準備 ○「いじめ・暴力追放」市民大会への参加 ○JRC活動への参加	○体育祭の成功にむけて ・生徒会の支援 ・学校行事としての体育祭
人権教育	○「いじめSTOPアピール」の再確認(通年〔適宜〕)と実践 ○「安心・安全宣言(居心地のいい学級・学校)」の再確認(通年〔適宜〕)と実践 ○道徳の授業の深化(研修成果の上に立って)→通年 ○生徒の顔が浮かぶ掲示の充実(学級・校内)			○インターネット被害・加害から身を守る学習会(生徒対象)		○携帯・インターネット等利用状況調査(「個人情報保護」の上、保護者開示へ)→保護者の啓発
特別支援教育	〔4月〕 ○支援学級入級生徒の状況と支援についての共通理解 ○難聴生徒への理解(講師招聘研修) ○支援学級入級生徒の複数指導の時間割作成 ○「交流」への啓発(学年集会、学級指導) ○身体面での配慮を要する生徒への意思統一(保護者との面談、職員会議、講師招聘研修)				○第2回小中連絡会での情報交換 ○支援学級保護者・生徒・教職員の交歓会(保護者の安心)	○体育祭の参加について ・特別支援学級担任と学年との協議 ・気になる子、支援学級生徒の活躍の場設定
心の教育	○道徳授業の充実(通年) ・「いじめ」「生命の尊厳」を重点化した道徳授業の実施	○OSCの有効活用(保護者の啓発),SCによる学習会(生徒) ○OSSR(別室当校生徒)の学習の充実(毎時の教師配置) ○いじめ」アンケートと教育相談		○校長講話(適宜) ○OSSR生徒の教室復帰へ向けた関わり(通年)	○SCによるカウンセリング研修	
生徒指導	○いじめ防止基本方針の作成 ○不登校生徒の状況把握 ○情報教育学習会(生徒) ○危機意識をもった校内巡回(適宜) ○規範意識の向上(学級指導、全校集会、生徒会の取組支援)	○「いじめSTOPアピール」の再確認(通年〔適宜〕)と実践 ○「安心・安全宣言(居心地のいい学級・学校)」の検証(通年) ○保健室利用のルール徹底 ○情報教育学習会(職員)	○地域サポート会議との連携 ○Q-U調査を活かした生徒指導(通年) ○防煙教室(講師招聘,1年)	○防煙・非行防止学習会 ○生徒指導委員会(毎週1回) ○全教職員による保健室利用ルールの生徒への確認と徹底(適宜)→保健室の環境の維持・向上	○生徒指導校内研修 ○不登校生徒の状況確認と対応の検討(生徒指導委員会及び職員会議)→適宜	○地域サポート会議の開催(定期) ○不登校への対応(SC、育成センター等)→適宜 ○不登校生徒の家庭訪問→3分間訪問(通年)
学校力の向上	○若手教員のOJT(通年) ○若手教員対象の生徒集会での講話(通年)→語ることで自分を振り返る→個人の成長を支援する職員室の対話の拡がり ○業務改善への取組(通年)	○小中情報交換会	○小中情報交換会(PTA)			

平成26年度学校経営行動計画

赤穂市立赤穂中学校 NO 2

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学習指導	○校内授業研修(教科) ・研修ポイントの振り返り ・授業の深まり(道徳) ○学校評価の実施 ○指導と評価の一体化 (教科部会)	○研究推進委員会 ・学校評価を受けて(指導上の課題)	○校内授業研修(道徳) ・授業の深まりがあったか ○指導と評価の一体化 (教科部会)	○校内授業研修(教科) ・研修ポイントの振り返り	○チャンス相談、生活ノートから個別学習指導へ(通年) ○学校評価 ・成果と課題	○学習上の課題の克服 ・担任と校長による講話 ・学年集会 ○指導と評価の一体化 (教科部会)
特別活動 (学級づくり)	○事例研修 ・Q-Uの分析と活かし方 ○トライやるウィーク ・仕事を通した、よき大人との出逢をするために	○Q-U調査 ○校内研修 ・前回調査と比較して ○「いじめ」アンケートと連動した教育相談(17～21)	○生活ノート・観察を通したチャンス相談(通年) ○進路保障への取組	○生徒会役員選挙 ・リーダーを選出する意義と重要性を考える場の設定 ○「いじめ」アンケートと連動した教育相談(26～30)	○生徒総会に向けて ・「生徒会憲章」への振り返り ・生徒会活動参加の総括	○卒業、進級 ・大切な「節目」でのエール (校長講話、学年集会等)
特別活動 (行事) (生徒会)	○生徒会・学年委員会による生活課題への取組(通年) ・学校行事としての文化祭 ○ふるさとまつり(赤穂・城西)への参加	○文化祭の成功にむけて ・生徒会の支援 ・気になる子、特別支援学級生徒の充実のための工夫 ○進路説明会 ・新通学区域を受けて	○「生徒会憲章」の再確認とアピール(通年[適宜]) ○福祉施設訪問 ・充実に向けた生徒会支援 ○学校保健委員会の有意義な活用	○生徒会選挙に向けて ・深まりのある学習会のため の手立て(1・2年生)	○生徒会、学年委員会の生活課題への取組(通年) ・評価と全教師の支援	○生徒総会 ・「生徒会憲章」の意義の継承 (生徒会役員アピール) (校長講話等) ・年間の総括と全校生徒による 新生徒会の激励
人権教育	○道徳授業 ・違いを認める集団づくり	○道徳授業(いじめ教材) ○学校評価による人権教育の見直し	○インターネット被害・加害の理解 促進(校内研修)	○道徳授業(いじめ教材)		
特別支援教育	○文化祭準備 ・「個」を大切にした取組	○文化祭 ・要支援生徒の活躍の場の設定	○就学指導委員会(毎月開催)	○特別支援教育コーディネータと特別支援学級担任による小学校との情報交換(適宜) ○特別支援教育コーディネータと生徒指導担当教員による小学校授業参観と情報交換(1月)		
心の教育		○「いじめ」アンケートと連動した教育相談		○「いじめ」アンケートと連動した教育相談	○SCによるカウンセリング研修	
生徒指導	○学校評価 ○校内研修 ・統一した組織的な指導になっているか	○学校評価による生徒指導の現状改善	○校内研修 ○生活ノート・観察によるチャンス相談(通年)	○「いじめ」アンケートと連動した教育相談		○校内研修 ・生徒指導の検証と課題
学校力の向上	○若手教員のOJT(通年) ○市教委主催研修への自覚的な参加 ○業務改善への取組(通年) ○小学校での授業(数学)			○小学校での授業(英語)	○小学校での授業(国語)	